

日本成人矯正歯科学会雑誌 投稿規定

(令和3年6月30日改定)

1 投稿資格ならびに条件

- ① 本誌への投稿は原則として本会会員に限る。但し、編集委員会が認めた場合はその限りではない。
- ② 投稿論文は他誌に未発表のものに限る。
- ③ 投稿に際し所定の投稿票に必要事項を記入の上、添付すること。

2 論文の採否、修正

- ① 投稿規定にあてはまらないものは受け付けない。
- ② 投稿論文の内容については編集委員会で審議し、必要に応じて編集委員会が委嘱した2名以上の査読者に見解を諮問した上で、その採否を決定する。また、必要と認めた場合には、書きかえ、修正を求めることができる。
- ③ 原稿が編集委員会に到着した日付を受付日とする。
- ④ 掲載する巻号が記入された論文掲載証明書は、採用が決定した後に発行する。

3 原稿の書き方

- ① 本学会雑誌は和文誌であるので、和文論文が望ましい。英文論文投稿の場合は、別にガイドラインがあるので、編集委員会に問い合わせること。和文論文はひらがな、常用漢字、現代かなづかいを用い、Windows7以降 MSワード2007以降もしくはmacOS/iOS Pagesを使用しA4判に10.5ポイントのフォントサイズで40×30行の1200字で印字する。英文論文はA4判または標準タイプ用紙を用い、10.5ポイントのフォントサイズ1行は60字、ダブルスペースで25行で印字する。また、改行等についても意図して和文を作成すること。
- ② 論文には表紙(表紙1、表紙2)をつけ、論文表題、著者名、所属を表紙1に日本語で、表紙2に英語で書く。なお、ランニングタイトル(40字以内)は和文論文では日本語で表紙1に、英文論文では英語で表紙2に書く。

英語、英文での論文表題、著者名、所属の書き方

Device of lateral expansion appliance
with a tube as an attachment.

Yutaka TAKEUCHI, Koya WATANABE, Noriko MIYAJIMA, Hirohiko SUZUKI*
Takeuchi Orthodontic Clinic / Suzuki Clean Dental Office*

- ③ 本文の前に650字以内の和文要旨(症例報告論文では不要)および220語以内の英文 abstract をつけ、本文を読まなくても論文の大意が理解できるようにする。キーワード(5語以内)は和文要旨の下に日本語で、英文 abstractの下に英語で書く。
- ④ 学術用語は医歯薬出版株式会社発行の歯科矯正学専門用語集(日本歯科矯正学会編)等を用い、和訳しにくい用語以外は日本語で表記する。数字はアラビア数字、計量単位は原則として、「国際単位系(SI)の単位記号」に準じる。欧語はすべて原綴りとし、Windows7以降 MSワード2007以降もしくはmacOS/iOS Pagesを使用して印字する。
- ⑤ 文献は、引用順に並べて一連の番号をつけ、本文末にまとめる。本文引用箇所背番号をつける。著者が4名以下のときは全員、5名以上のときは、はじめの3名までを書き、あとは『ほか』または『et al.』をつけ加える。

文献の書き方は、次の様式に従う。

雑誌	著者名: 題名, 誌名, 巻(号): 頁, 発行年(西暦).
単行本	著者名: 書名, 版, 発行所, 発行地, 発行年(西暦), 引用頁.
分担執筆	著者名: 書名, (一版), 編者名(一編), 巻, 発行所, 発行地, 発行年(西暦), 引用頁.

例)

雑誌の場合

雑誌の略称は、その雑誌に記載されているものを用いる。ただし、ピリオドはとる。

(例) 佐藤元彦：成人矯正の特徴と問題点について. 日成人矯歯誌, 1 (1) : 4-21, 1994.

(例) Chan, M.D. : An adult malocclusion requiring a combination of orthodontic and prosthodontic treatment. Am J Orthod Dentofac Orthop, 111 (1) : 100-105, 1997.

単行本の場合

(例) Angle, E.H. : Treatment of malocclusion of the teeth. S.S. White Mfg. Co., Philadelphia, 1907, 35-59.

翻訳本の場合

(例) Enlow, D.H. : 三浦不二夫監訳：顎顔面の成長発育、1版、医歯薬出版、東京、1980、10-47.

翻訳本の中の一章の場合

(例) Andreasen, J.O. : 月星光博ほか訳：カラーアトラス 歯牙の再植と移植の治療学、1版、クインテッセンス出版、東京、1998、76-87.

(例) Thompson, W.J. : 酒井信夫訳：ORTHODONTICS, Combination Anchorage Technique-C.A.T.- 1版、ランサーインターナショナル、東京、1986 (Thompson, W.J. : Modern Begg : a combination of Begg and straight wire appliance and techniques, in : Orthodontics, current principles and techniques (edited by Graber, T.M. and Swain, B.F. pp. 717-789, Mosby Co., St. Louis, 1985) .

単行本の中の一章(共同執筆)の場合

(例) 大出祥幸：移植・再植における歯根吸収・アンキローシス、治療の病理(臨床編) 第3巻 歯の移植・再植-歯根膜をいかす-(下野正基、飯島国好編)、1版、医歯薬出版、東京、1995、193-211.

- ⑥ 表、図(写真を含む)は、それぞれ用紙サイズをそろえて、B5判またはA4判用紙を用いて1枚ずつ作成し、表または図ごとに通し番号(表番号は表1、2、…で表のタイトルは上に)(図番号は図1、2、…で図のタイトルは下に)をつけ、本文末にまとめる。その表題および説明文は和文論文では和文、英文論文では英文を原則とする。表・図挿入箇所を本文欄外に朱書きする。表の大きさは刷り上がり1ページ以内とし、1ページに収まらない表は受け付けない。図はJPEGもしくはPDF形式とし、JPEGの場合、(300~400) dpiの範囲内とし、必要があれば印刷寸法を書き入れる。
- ⑦ 郵送する論文はオリジナル1部、コピー3部とし、他にもう1部著者の手元に保存しておく。
- ⑧ 原稿の採否、査読の結果は後日連絡するものとする。最終原稿の提出時には、電子媒体(USB、CD-ROM、DVD-ROM)を添えること。提出用の電子媒体には、氏名、所属、使用機種(Mac、Windows)、ソフト名を明記する。

4 掲載料

当分の間、実費著者負担(別刷も含めて)とする。

5 投稿規定の変更

以上の投稿規定は、編集委員会の議を経て、理事会の責任において変更することができる。

6 投稿原稿の送り先

〒115-0055 東京都北区赤羽西 6-31-5 (株) 学術社内 日本成人矯正歯科学会 編集委員会
TEL 03-5963-4007 FAX 03-5963-4008
MAIL seijin@gakujyutsusha.co.jp

7 本誌に掲載された論文の著作権(著作財産権、copyright)は、本学会に帰属する。

8 医学研究に関するヘルシンキ宣言によれば、著者、編集者および発行者はすべて、研究結果の公刊に倫理的責任を負う。投稿論文には、人を対象とした場合は、「ヘルシンキ宣言の倫理基準に従って実施された」ことが記されること。必要により同意書(治療内容、資料使用)、倫理委員会承認書を添付する。動物を対象とした場合、「動物実験が倫理的に行われた」ことが記されること。必要により実験承認書を添付する。

9 研究倫理に関する講習会の受講

日本矯正歯科学会では臨床・疫学研究倫理審査委員会の申請にあたり、実施責任者と研究分担者の研究倫理に関する講習会の受講が義務づけられた。日本成人矯正歯科学会では論文投稿時に講習会の受講を必須としないが、投稿論文の筆頭著者と共著者へは受講を推奨する。

① 日本学術振興会研究倫理eラーニングの研究者向けコース、<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx> のページで、個人として新規登録後ログインし、コース学習を選択して、「事例で「学ぶ／考える」研究倫理－誠実な科学者の心得－」を受講すること。「(大学院生向け)事例で「学ぶ／考える」研究倫理－誠実な科学者の心得－」ではないので、注意すること。受講料は無料。修了証書が必要なときは受講中に確認テストがあり、受講終了後に修了証書が発行される。

② eラーニングサイト、ICR臨床研究入門

サイトのコンテンツ作成と運営は、厚生労働省の研究班(厚生労働科学研究費補助金『臨床研究ポータルサイトICRwebを用いた研究者、倫理審査委員、臨床研究専門職、市民の教育と啓発』班)が行っている。<https://www.icrweb.jp/> のページで、個人として新規登録後ログインして、必要なコースを受講すること。受講料は無料。修了証書が必要なときは受講中に確認テストがあり、受講終了後に修了証書が発行される。

10 利益相反 (Conflict Of Interest : COI) の開示

論文は矯正歯科と社会一般の進歩に貢献し共有される。著者はオーサーシップを受けるが、これには義務と責任を伴う。利益相反の明示も要請される。利益相反がない場合は、論文末尾に「本論文に利益相反関連事項はない。」と記す。開示すべき情報がある場合は「本研究は「企業名」の研究費で実施された。」と記す。必要により利益相反申告書を提出すること。利益相反申告書は本学会誌に掲載されたもの、または、学会ホームページからダウンロードしたものを使用すること。